

平成31年度 教育課程表			熊本県立天草高等学校 全日制											
学 科			普 通 科											
入 学 年 度			平 成 31 年 度 入 学											
平成31年度現在の学年(○印)			Ⅰ	Ⅱ			Ⅲ				計			
教科	科目	類型(コース) 標準単位	全	文	理	AS	文	理1	AS	理2	文	理1	AS	理2
		国語	国語総合	4	5								5	5
	国語表現	3												
	現代文A	2												
	現代文B	4		3	2	2	3	2	2	2	6	4	4	4
	古典A	2												
	古典B	4		3	3	3	3	2	2	2	6	5	5	5
地理歴史	世界史A	2		3	2	2					3	2	2	2
	世界史B	4					5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4
	日本史A	2		3	2	2	5	4	4	4	0.3	0.2	0.2	0.2
	日本史B	4					5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4
	地理A	2		3	2	2					0.3	0.2	0.2	0.2
	地理B	4					5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4
公民	現代社会	2	2								2	2	2	2
	倫理	2					2				2			
	政治・経済	2					2				2			
数 学	数学Ⅰ	3	3								3	3	3	3
	数学Ⅱ	4	1	3	3	3	3				7	4	4	4
	数学Ⅲ	5						4	4			4	4	
	数学A	2	2							4	2	2	2	6
	数学B	2		2	2	2	2	2	2	3	2.4	4	4	5
	数学活用	2												
理 科	科学と人間生活	2												
	物理基礎	2	2								2	2	2	2
	物理	4			2	2		5	5	5		0.7	0.7	0.7
	化学基礎	2			2	2					2	2	2	2
	化学	4			2	2		4	4	4		6	6	6
	生物基礎	2	2								2	2	2	2
	生物	4			2	2		5	5	5		0.7	0.7	0.7
	地学基礎	2		2							2			
	地学	4												
	※実践生物基礎	2					2				2			
	※実践地学基礎	2					2				2			
保健体育	体育	7~8	3	3	3	3	2	2	2	2	8	8	8	8
	保健	2	1	1	1	1					2	2	2	2
芸 術	音楽Ⅰ	2	2								0.2	0.2	0.2	0.2
	音楽Ⅱ	2		2							0.2			
	音楽Ⅲ	2					2				0.2			
	美術Ⅰ	2	2								0.2	0.2	0.2	0.2
	美術Ⅱ	2		2							0.2			
	美術Ⅲ	2					2				0.2			
	書道Ⅰ	2	2								0.2	0.2	0.2	0.2
	書道Ⅱ	2		2							0.2			
	書道Ⅲ	2					2				0.2			
外 国 語	コミュニケーション英語基礎	2												
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3								3	3	3	3
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4	4	4					4	4	4	4
	コミュニケーション英語Ⅲ	4					4	4	4	4	4	4	4	4
	英語表現Ⅰ	2	2								2	2	2	2
	英語表現Ⅱ	4		2	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4
	英語会話	2												
家 庭	家庭基礎	2	2								2	2	2	2
	家庭総合	4												
	生活デザイン	4												
情 報	社会と情報	2	1	1	1						2	2	1	2
	情報の科学	2					2				0.2			
※SSH	※天草サイエンスⅠ	2	2								2	2	2	2
	※天草サイエンスⅡ	2				2							2	
	※天草サイエンスⅢ	1							1				1	
	※数科学探究Ⅰ	1			1	1						1	1	1
	lp目数科学探究Ⅱ	1						1	1			1	1	
各学科共通教科計			33	32	32	33	32	32	33	32	97	97	99	97
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3
総 合	求学志成	3~6		1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2
合 計			34	34	34	34	34	34	34	34	102	102	102	102

※は学校設定科目

- ・1年次の数学は数学Ⅰを履修した後に数学Ⅱを、2年次の理科は化学基礎を履修した後に化学を履修する。
- ・2年ASコースの共通教科「情報」科目「社会と情報」1単位は、学校設定科目「天草サイエンスⅡ」1単位で代替する。
- ・1年次の「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスⅠ」1単位で、2年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスⅡ」1単位で、3年次ASコースの「総合的な探究の時間」各1単位は「天草サイエンスⅢ」1単位で代替する。

2 第4回及び第5回運営指導委員会議事録

第4回運営指導委員会 議事録

- 1 期日：平成31年2月27日(水) 12:40~13:40
- 2 場所：天草市民センター第1会議室
- 3 出席者 科学技術振興機構鈴木主任調査員
運営指導委員9名、熊本県教育庁関係職員
天草高校関係職員

4 議事

【開会：県教育委員会・指定校校長挨拶】

那須 7月の委員会の意見を踏まえ、世界に飛躍する人材育成の取り組みをしている。新聞記事でも取り上げられている。また、県内での合同発表会でも成果を発表した。他校を牽引する天草高校の活躍を期待している。来年度は中間報告がある。今回の議事内容を3年目の取組に反映させたい。また、理数教育の支援をお願いしたい。

平田 口頭発表でもご意見ありがたい。SSHの取り組みは意義が大きく、魅力を感じている。ノーベル賞本庶先生が言われたが、科学は好奇心が大切。来年の中間報告に向けていきたい。

【天草高校からの説明】※進行 市川委員長

井上 朝の概要説明では成果を主に報告した。課題は、自然科学アンケートで、1年生は下がる傾向にあること。ルーブリック評価は上がっているが、自然科学アンケートは発表以外は0.1~0.5下がっている。数科学探究Ⅱでは、数学の課題研究を行いたい。来年度予算減の可能性があり、関西研修、海外研修、他の研修の精選が必要。ASⅡは多くの発表を通して表現力が上がっている。

渡邊 自然科学アンケートの項目内容は？

井上 理科や数学の興味関心などを自己評価の4段階評価で取っている。

市川 平均で0.1下がっている？

井上 項目ごとに見ると、下がってから上がることもある。下がって横ばいもある。

渡邊 アンケートが50項目ある。試験後は下がったりなどいつ行うかで上下する。生徒の回答は全体のことを問うているので、4月から10月へ下がって、そのまま維持する。ASⅠと通常の授業の在り方の関係性が大事。また、中学と高校の学習にギャップがある。4月は中学のイメージでアンケートをかき、10月は高校のイメージで答えている。

橘 1回目はよくわからないままアンケートに答える。
田丸 2回目はアンケートの内容が分かるから、より真摯に答え厳しく答えているかもしれない。ASのことが分かればわかるほど、自分ができないことも見えてくるから、自己評価が厳しくなっているのでは。

田口 他校もアンケートが下がっているのであれば今の議論が当たっているかわかる。

市川 数科学探究について詳しく。

松田 数科学探究について2年理系とASクラスで行っている。数Ⅲを取る生徒に対して指導している。地域

課題を解決することも目的にしている。数科学探究Ⅰでは、天草の避難場所など、教員からサンプルを出していた数科学探究Ⅱでは、ネタを自分たちで見つけ、解決策を考えることをしたい。

市川 そのようなネタは、大学生でもインターネットで探す。避難所を地域課題に結びつけるのは素晴らしい。
渡邊 コンピュータ等を使うことをできますかという項目が伸びている。日常の事象を数値化するなど、モデル化も上がっている。しかし、思考と推論が上がっていない。発表を聞いて思ったが、データがどのような意味を持つのかやデータの読み取り、データの作成、これが地域課題につながるとよりよくなる。

市川 データの解釈を深める際にも、地域課題にするとよい。
田口 天草の人口ピラミッドは、2045年までの予測が出ています。このグラフから何が読み取れるのか。どうすれば変化するのか。人口減少高齢化は何を根拠に予測されるのか。19歳以下が少ない。90歳以上の女性が多いなどはどうか。

橘 市役所などからデータの読み方の話をしてもらおう。行政にも関連できる。
草積 連続講義の中で、データを基に予想されることを話しができる。

市川 実感のないときに聞いてもピンとこない。実際に数値を使って情報が集まってから上のデータの話をしてもらった方が納得できる。企業の中から見てどうか。

渥美 実験の値が本当正しいのかを疑う。バラつきを統計処理する。先生と生徒の議論も大事になってくる。

市川 人材育成について、ASⅡは発表機会を多くしている。今日の発表も2年生は上手い。海外研修は必須か。何名行くのか。

井上 10名参加。
橘 スカイプで国内・国外とつながるのは？

井上 今年の海外研修で国内から天草の紹介と1グループ研究発表を行った。
渡邊 2年生の経験値が上がった。海外に行くことで、人と関わり合って学ぶ。続けてほしい。最後は地域に還元できるか。子どもたちだけでなく地域の他の人にも広めていく。

市川 海外から来たら宿泊施設はあるのか？民泊とか。
井上 土坪高校が国際交流で来校した際には、学校の宿泊施設や交流生徒の家に宿泊している。

釜賀 関西か福岡研修で申請している。福岡研修も案のうち。デンソーの北九州など、研修地の視野を広げる。科学技術を身近に感じられるところは他にある。

市川 他のSSH高のやり方は？評価の客観性が大事。生徒の力が図れるようなテストを作るなど。
渡邊 数値も大事だが子供の学びを見る。プレゼンテーション資料の推移をみることや、習った言葉を使っているかを読み取る。また、プロセスを吟味することも忘れてはいけない。最後のアンケートで結果を取るのではなく、抽出して生徒をピックアップして評

価するのがいい。平均値ではなく、個を抽出して評価する。

田丸 来年度はデータ処理を充実させるなど、目標設定をもって指導を行う。今回の発表であれば、天草の看護師の適正人数を算出するなど。天高から何人看護師になれば維持できるのか。

渥美 発表がまとまりすぎている。1年生だったら個々の考えを反映した発表がいい。形にこだわらずに発表する方が有効と感じた。

市川 昨年より確実に進んでいる。熊本県内のSSHと情報交換しながら進めてほしい。

【まとめ】

平田 授業全体の取組の改善やデータの読み取りの指導、SSHを地域に活かすこと。評価について。3年目は、進路にも生かしたい。

那須 有意義だった。3年目の中間報告が大きな山場。県の合同発表会SSH、SGH、SPHスーパーグローバルもある。今後も、強みを生かしてほしい。

第5回運営指導委員会 議事録

1 期日：令和元年7月19日(水) 14:00～15:00

2 場所：天草市民センター和室

3 出席者 運営指導委員7名、熊本県教育庁関職員
天草高校関係職員

4 議事

【開会：県教育委員会・指定校校長挨拶】

前田 昨年度まで、天草高校の教頭として関わっていた。中間評価があるが、それを想定した意見交換ができればいい。天草高校の自己評価表に基づいて中間評価を想定したものができればよい。

平田 3年生が発表した。人材育成等に向け、それぞれの学年、学校全体で評価、表現力の改善、英語力の育成、進路面での実績に取り組んでいる。今回の発表が起業と結びつければなおよい。科学部が世界大会出場。今年は、質疑も生徒だけで行えた。できなかった質問はこの回でしていただければ。

市川 中間評価を控えて、主に自己評価表から説明を。

井上 高校教育課から昨年度のフォームをいただいて、研究部でまとめた。9月頃に書式がきて仕上げる。

- ・進捗状況についての説明
- ・課題研究についての説明
- ・授業改革についての説明
- ・数科学探究についての説明
- ・大学との連携についての説明
- ・関西研修やマレーシア海外研修についての説明
- ・普及についての説明
- ・評価についての説明
- ・地域との共創についての説明
- ・近隣校との連携についての説明

田丸 中間評価の素案を10月までに作り上げる。必要なデータが不足していれば、情報をどうやったらとれるか考える。成果と課題の部分は、データを添えて示してほしい。学生のアクティビティ上昇も重要で、

全会議に参加している運営指導委員が評価したらいいのではないか。テーマ設定材料の扱い、今後の展開について具体的な展望があるか学生と運営指導委員の意見を比較するとどうか。

松元 発表が堂々としている。研究の中身についても、天草の観光や産業についてテーマ設定している子が多い。地元密着の研究が天高の売りではないか。

渡邊 ASを始めたときより高まったか。問を設定する力はついたか。データを収集する力はつきましたか。プレゼン力は高まったかなどを問うとよい。探究するというものをフローチャートで表現させるのも効果的。そして、どんなところを改善したほうが良いと思うかも問う。

渥美 第1回運営指導委員会で天草のゲンジボタルの研究発表を聞いた。それから比較してもプレゼンの能力が伸びた。しかし、データ量に課題がある。結果がイメージで終わっている。研究を進めている人たちは、書いている以上にやっている。ただ、なんで結論がいえるのかの質問に対して、生徒たちが自ら答えていた。主体的に行っている様子がわかる。ポスターセッションの方法については改善がひとつではないか。

井上 赤潮班が神戸のSSH生徒研究発表会に行く。ASの授業でやってきた内容を、神戸で発表する。

渥美 教師が指導しているのか。

宮崎 教師と進捗状況の確認などを行い、データは水産研究センターの方に頂いている。後は、データの考察など、自ら勉強して進んでいる。

井上 データの取り扱いについても指導が必要。はずれ値を除外するほうが効果があるなど、膨大なデータをどう扱うのかなどを教えた。

赤池 非常に問題の設定等、引き付ける内容であった。着眼点もよい。その中で、問題をどう捉え、解決していくかについて、研究成果をもっと知りたい。また、起業化につながるテーマもあった。記者としても高校生が取り組んでいる内容なので、記事にしたい。

田口 口頭発表が楽しかった。高校生自身も楽しんでいなかったのではないか。今回、運営指導員が質問しなかったのは初めて。成長ではないか。これを質問しよう考えていたことが、質問ででたことで、とてもうれしかった。先生方へのアンケート、保護者、地域の方へのアンケートで、天草高校の生徒が変わってきているとわかれば良いと思う。

田丸 今日、最初に発表されていたときに、ASⅡⅢは合同でやっていると同ったが。

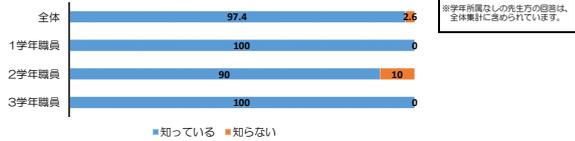
井上 時間帯を1時間重ねている。継続研究も、そのままではなく、発展できるように促している。

田丸 ASⅠⅡⅢで同じテーマを同時進行しても面白いと思った。そこで技術の伝承ができる。ASⅡの研究が進んだら、大学との連携も積極的に行ってほしい。

渡邊 全体的に、すごくレベルアップした。探究のレベルが確実に上がってきている。

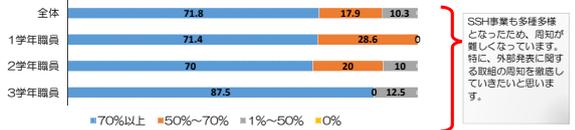
RO1年度 職員による天草高校SSH意識調査アンケート集計結果

Q1:天草高校のSSH研究開発課題を知っていますか



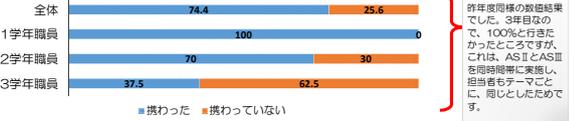
※学年所属なしの先生方の回答は、全体集計に含められています。

Q2:今年度のSSH事業をどの程度知っていますか



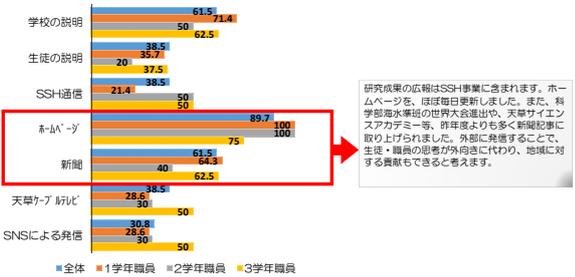
SSH事業も多様多様となったため、周知が難しくなっています。特に、外部発表に関する取組の周知を徹底していきたいと思えます。

Q3:SSH事業に携わりましたか



昨年度同様の数値結果でした。3年目になったところですが、これは、AS1とAS2を併用期間に実施し、担当者もテーマごとに、同じとしたためです。

Q4:SSH事業成果の広報に有効であると思うもの(※複数選択可)



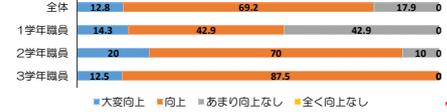
研究成果の広報はSSH事業に含まれます。ホームページを、ほぼ毎日更新しました。また、科学部海水塩分の世界大会進出や、天草サイエンスアカデミー等、昨年度よりも多く新聞記事に取り上げられました。外部に発信することで、生徒・職員の思考が外向きに代わり、地域に対する貢献もできると考えます。

Q5:生徒の科学技術に対する興味・関心・意欲が増えましたか

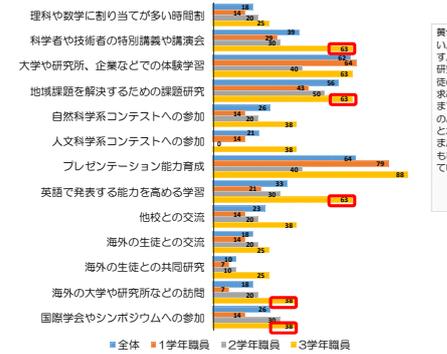


SSH事業が生徒の役に立っているかという問いです。質問は変えず、回答項目を変更しています。SSH事業を通して、科学技術への関心が高まっていると感じるようになります。1年生の学習態度向上に課題が残りました。

Q6:生徒の科学技術に関する学習に対する意欲が増えましたか

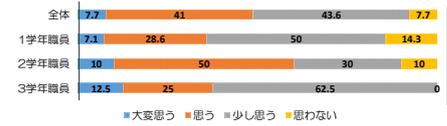


Q7:天草高校SSH事業に求めること



黄色のグラフに注目してください。3年生の先生方からの回答です。昨年同様、体験学習や課題研究、外部発表の機会など、生徒の活動の場が多くなることを求めるという回答となっています。やはり、実践にも、そのような力が求められていることがわかります。また、他校生徒の交流は、今後も事業の中に取り入れ、継続していきたいと思っています。

Q8:SSHが指導力向上に役立つと思いますか



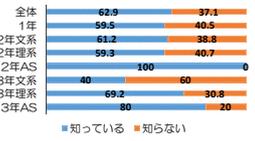
今年度、授業改革や課題研究の指導法という職員研修を実施しました。探究の視点や全職員が共有し、全教科を通して指導することを今後も掲げていきたいと思っています。

RO1年度 保護者による天草高校SSH意識調査アンケート集計結果

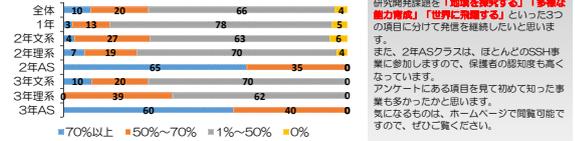
Q1:天草高校がSSHの指定校であることを知っていますか



Q2:天草高校のSSH研究開発課題を知っていますか



Q3:今年度実施・参加したSSH事業をどの程度知っていますか



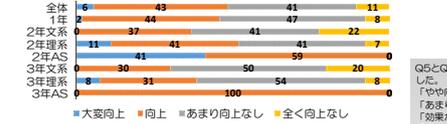
Q1・2は、昨年度通り結果であった。研究開発課題を「**地産を探究する**」「**多様な能力育成**」「**世界に発信する**」といった3つの項目に分けて発信を継続したいと思えます。また、2年ASクラスは、ほとんどのSSH事業に参加しますので、保護者の認知度も高くなっています。アンケートにある項目を見て初めて知った事業も多かったかと思えます。気になるものは、ホームページで閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。

Q4:天草高校のSSH事業を知ったきっかけは何ですか(※複数選択可)



2年ASクラスの生徒が保護者の方に説明を、結果にしていることが分かります。また、SSH通信やホームページの更新も広報に、日々行われている結果となります。3年文系保護者の新聞記事に関する項目が大きく伸びています。今年度は科学部海水塩分の世界大会進出や、研究成果発表会の地域への広報、天草サイエンスアカデミー、天草宝輪起業塾等が大きく取り上げられました。また、天草ケーブルテレビでは、研究成果発表会の放映の他に、世界大会の特別番組を放映して頂きました。

Q5:お子様の科学技術に対する興味・関心・意欲が増えましたか



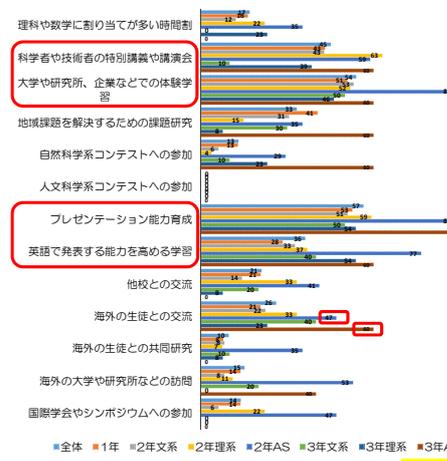
Q5とQ6とも、回答項目を変更しました。「やや向上した」という回答項目を「あまり向上しなかった」に変更し、「効果がなかった」という回答項目を「全く向上しなかった」に変更しました。

Q6:お子様の科学技術に関する学習に対する意欲が増えましたか



SSH事業に多く参加している生徒は、保護者の方から見ても科学技術に関する関心等が高まったと感じられるようです。今後も、特別講演会や天草総合大学等、全ての生徒が体験できるプログラムを、よりよく構築していきたいと考えます。

Q7:天草高校SSH事業に求めること



少し見にくいグラフとなりましたが、講演会や体験学習、プレゼン力育成といった項目が、増加して求めていることがわかります。これは、昨年同様の傾向です。海外の生徒との交流は、マレーシア海外研修を行うASクラスだけでなく、3年文系保護者の数も増えてきています。海外の生徒との交流は、土曜高校生徒とのSkype交流がありますので、今後も継続していきたいと思えます。

図表の刷新力ありがとうございました。

課題研究一覧

- 3111 天草空港と周辺動物の関係性～動物との共存を目指して～ 【AS II】
- 3112 トレハロースの新たな活用法 ～よりおいしい野菜を簡単に、低コストで～ 【AS II】
- 3113 天草潮流発電所 【AS II】
- 3114 天草生まれの石鹸 【AS II】
- 3115 イルカウォッチング船がイルカに与える影響 【AS II】
- 3116 天草の海をマイクログプラスチックから守る！！ 【AS II】
- 3117 カタヤシとメダカの種間関係 【AS II】
- 3118 薬バイオ燃料で天草を元気に～コストロモデルを用いたコッコミクサ培養の効率化～ 【AS II】
- 3119 納豆菌で天草を救う！～ヘドロの除去～ 【AS II】
- 3120 海のきれいなパロメーターをウミホタルからアプローチ 【AS II】
- 3121 唯一無二の天草陶石 ～私たちが予測する陶石の眠る場所～ 【AS II】
- 3122 天草の水 【AS II】
- 3125 天草の政治が抱える課題解決に向けて 【AS I・政治】
- 3126 イルミネーションで天草の活性化へ 【AS I・観光】
- 3127 空き家リフォーラムで古民家経営 【AS I・起業】
- 3128 漁師の悩みを解決～赤潮対策で天草をPR～ 【AS I・水産】
- 3129 天草を観光業で発展させよう！ 【AS I・観光】
- 3130 天草一周の旅～海 vs 陸～ 【AS I・観光】
- 3131 天高生による天草の特産物を使った天草のためのビジネス 【AS I・観光】
- 3132 HappyHoliday!! 【AS I・観光】
- 3133 錦天街の再興のために 【AS I・観光】
- 3134 牛深と本渡のなまりの違い 【AS I・方言】
- 3135 方言の歴史に迫る！In Amakusa 【AS I・方言】
- 3136 天草弁の地域ごとの違いとその浸透度 【AS I・方言】
- 3137 天草を出る人の心情について 【AS I・心理】
- 3138 TTBiz-Thinking a travel plan- 【AS I・国際】
- 3139 外国人のための旅行と観光 【AS I・国際】
- 3140 天高から世界へ 【AS I・国際】
- 3141 About road sign and map symbol in Japan 【AS I・国際】
- 3142 天草の活性化のために 【AS I・歴史】
- 3143 世界遺産とマラソン大会 【AS I・歴史】
- 3144 崎津集落～世界遺産登録後の経済効果～ 【AS I・観光】
- 3145 海から学ぶ天草の歴史 【AS I・水産】
- 3146 熊本の世界遺産から見た大江天主堂～大江天主堂を世界遺産へ～ 【AS I・歴史】
- 3147 VRを使った避難訓練 【AS I・教育】
- 3148 高齢者によって起こる問題と私たちにできること 【AS I・福祉】
- 3149 みかんで天草をPR 【AS I・経済】
- 3150 天草のマイクログプラスチックについて考える 【AS I・環境】
- 3151 虫を増やして観光資源を増やす!! 【AS I・環境】
- 3152 観賞用のフグを育てよう 【AS I・環境】
- 3153 天草の薬場の減少の原因とその改善 【AS I・環境】
- 3154 地球温暖化が及ぼす天草への影響と予測 【AS I・環境】
- 3155 海洋ごみが与える影響 【AS I・環境】
- 3156 異常気象の原因とその対策 【AS I・環境】
- 3157 天草の雨による被害と対策 【AS I・環境】
- 3158 地質と災害の関連性について 【AS I・地学】
- 3159 天草魚大冒険 【AS I・生物】
- 3160 塩害が植物に与える有害性 【AS I・生物】

- 3161 海水温度の変化から見る漁獲量の変化 【AS I・生物】
- 3162 身近なものでさび防止 【AS I・化学】
- 3163 川について 【AS I・環境】
- 3164 カニの侵入防止と資源の有効活用 【AS I・生物】
- 3165 天草の魅力発見 【AS I・食品】
- 3166 天草の柑橘系をみんなに知ってもらおう 【AS I・食品】
- 3167 天草の食材を使い、料理を作り、発信する 【AS I・食品】
- 3168 天草市の健康増進の取り組みについて 【AS I・医療】
- 3169 天草の健康状態改善のために 【AS I・医療】
- 3170 熱中症から天草を守る 【AS I・医療】
- 3171 天草の医療制度と健康水準の変化 【AS I・医療】
- 科学部1 海水を用いた発電の実用化へ ～海水で自給自足を指して～ 【化学】
- 科学部2 天草にはなぜ震源が少ないのか ～VRを用いた避難訓練～ 【地学】
- 科学部3 珪藻・花粉分析による有明海の海水準変動の解明 ～世界の未来を守るために～ 【地学】
- 起業塾1 “海 vs 山” 天草自然対決バスツアー 【起業】
- 起業塾2 あおさ石鹸 ～天草の海の恵みを漏れなく活用、アンチエイジング事業～ 【起業】

外部発表会等参加一覧

番号	7月	10月	10月	10月	11月	11月	12月	12月
	グロハ・ ルリケン ガボール	サエイSH @SQUO	九大 7か'ミック FES	生徒理 研 熊本 大会	STI for SDGs ワード	ビジネ スグラ ンプリ	熊本県 SH 合同 発表会	12月 4EIS キョッル
3111	●	●	●				●	
3112		●	●				●	
3113		●	●				●	
3114	●	●	●				●	●
3115	●	●	●				●	●
3116	●	●	●				●	●
3117	●	●	●				●	●
3118	●	●	●				●	●
3119		●	●				●	優秀賞
3120		●	●				●	
3121	●	●	●				●	
3122	●	●	●				●	
3132					●			
3154							●	
科学部1		●	●	●			●	
科学部2		●	●	●			●	
科学部3	●	●	●	●	次世代賞		●	
起業塾1							●	ベスト100
起業塾2								

令和元年度の主な受賞歴

- 11/15 STI for SDGs アワード 次世代賞
科学部3 50年後の熊本は・・・～珪藻・花粉分析からの海水準変動予測～
- 12/8 サイエンスキヤッスル2019 優秀ポスター賞
3119 納豆菌で天草を救う！～ヘドロの除去～
- 2/14-15 第5回高校生国際シンポジウム 環境部門最優秀賞 ※GISポスター発表推薦権獲得
科学部3 50年後の熊本は・・・～珪藻・花粉分析からの海水準変動予測～